

ヘルパーの技術向上に関する

プロジェクトチーム



報告書記載者：小谷委員

運営会議の担当委員：小谷委員

令和元年度(平成31年度)の重点項目

- ・管理者に向けた座談会とヘルパー向けに行った座談会のアンケートを集計し、調査結果を具体的な活動に繋げる。
- ・技術向上から課題の変化が見られ、人材確保、定着等への取り組みを考察。

活動概要

<p>平成30年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none">・第7回～第12回会議開催<ul style="list-style-type: none">➢ 管理者の思いを共有する座談会から継続を望む声が多く今後どのように継続できるか等検討する。➢ ヘルパーの技術向上から人材確保・定着等の課題が出てきたためプロジェクト内で今後の活動を検討。・管理者の思いを共有する座談会開催<ul style="list-style-type: none">➢ 第2回(白石区・厚別区)、第3回(南区・豊平区・清田区)、第4回(全市対象)・ヘルパーの魅力を共有する座談会開催<ul style="list-style-type: none">➢ 3月28日に開催(全市対象)
<p>令和元年度 (平成31年度) 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none">・適時会議開催<ul style="list-style-type: none">➢ 課題解決に向けた方向性を検討・座談会アンケートの集計、調査結果をふまえ具体的な活動を検討。・障がい特性に向けての事例検討会等を開催予定。

課題の概要

課題の概要	課題No.
管理者の資質向上	1
ヘルパーの技術向上、資質向上、人材確保、人材定着	1、67、82
障がい特性理解（人材確保と定着）	67、82

課題解決に向けた方向性

課題解決に向けた方向性	課題No.
管理者の思いを共有する座談会とヘルパーの魅力を共有する座談会を開催し管理者やヘルパーの思いを共有とネットワーク（事業所の繋がり）ができた。今後も継続の要望も多いことから、さらに方向性を検討する。	1
座談会で回収したアンケートを集計し、結果を調査し具体的な活動を検討する。	1、67、82
障がい種別による特性に向けての支援方法（関わり方）のための事例検討等を行う。	67、82、87、88

プロジェクトの活動期限とそれまでの目標

令和2年9月（平成32年9月）を目途に区切りをつける。
しかし、ヘルパーの現場の課題や、困りごとにはまだ手が付けられていないこと等があるため、今後の活動について、さらに具体的に検討する。

構成員

氏名	所属
小谷 晴子（東区地域部会）	札幌アシストセンターマザー
佐藤 明彦（東区地域部会）	どろんこマーケット
佐藤 忠峰（東区地域部会）	ゆうげんかいしゃからーず 有限会社Colors
福田 佳珠美（東区地域部会）	ひがしくほけんふくしか 東区保健福祉課 個別支援主査
和田 文明（北区地域部会）	サポートセンターれら
紺野 順子（北区地域部会）	トライ夢

くりむし ひろあき きよたくちいきぶかい 栗虫 宏明 (清田区地域部会)	ゆうげんがいしやたくま 有限会社拓真ワークス
ふちせ かちこ 瀧瀬 嘉智子	さっぽろししやかいふくしきょうぎかい ちゅうおう 札幌市社会福祉協議会 中央ヘルパーセンター

※ 前回報告時 (平成30年11月6日全体会) 以降に変更があった構成員は氏名の後ろに
(新) と記載。

じむきょく
事務局

☆ さっぽろし ほけんふくしきょくしやう ほけんふくしぶしやう ふくしか
☆ 札幌市保健福祉局 障がい保健福祉部 障がい福祉課

☆ さっぽろちいき
☆ 札幌地域づくりネットワーク ワン・オール